

栄沢幸二教授 履歴・業績

栄沢幸二教授 履歴・業績

〔略 歴〕

- 1935年 富山県入善町に生まれる
1954年 富山県立入善高等学校卒業
1958年 東京教育大学農学部林学科卒業
1961年 東京教育大学社会科学科法律政治学専攻卒業
1964年 法政大学大学院社会科学科修士課程政治学専攻卒業
1968年 東京教育大学大学院文学研究科博士課程政治学専攻退学
1968年 信州大学教養部専任講師
1972年 同助教授
1985年 専修大学法学部教授（現在に至る）

〔業 績〕

1 著書・共著

単著

- 『大正デモクラシー期の政治思想』研文出版，1981年
『日本のファシズム』教育社，1981年
『大正デモクラシー期の教員の思想』研文出版，1990年
『大正デモクラシー期の権力の思想』研文出版，1992年
『大東亜共栄圏の思想』講談社，1995年
『近代日本のナショナリズム』青山社，2001年

『近代日本の仏教家と戦争』専修大学出版局，2002年

共著

「民本主義の形成」橋川文三・平岡敏夫編『近代日本思想史の基礎知識』

有斐閣，1971年

「近代の思想文化」『岩波講座日本歴史』26巻，岩波書店，1977年

「尾崎行雄」，和田守・竹山護夫・栄沢幸二著『近代日本の思想』2，有斐閣，1979年

「小野梓」，田中浩編『日本の国家思想』上巻，青木書店，1980年

「大正デモクラシーと権力」，田中浩編『現代世界と国民国家の将来』御茶ノ水書房，1990年

「護憲運動と憲政思想」，金原左門編『大正デモクラシー』吉川弘文館，1994年

2 論文

「日本帝国主義成立期における浮田和民の思想的物質」『歴史学研究』332号，1968年

「日本帝国主義研究の一視角」『人民の歴史学』6号，1968年

「大正デモクラシー思想発展の諸段階」『信州大学教養部紀要』4号，1970年

「日本帝国主義成立期の天皇制思想」『信州大学教養部紀要』6号，1972年

「日本における近代ナショナリズムの思想的特質とその限界」『信州大学教養部紀要』10号，1976年

「ファシズム期における尾崎行雄のナショナリズム」『信州大学教養部紀要』11号，1977年

「立憲改進黨系思想家の憲法観・国家観」

『歴史公論』, 1981年3月号

「大正デモクラシー期における小学校教員の意識」『信州大学教養部紀要』
19号, 1985年

「日露戦争後の権力の思想」『専修大学社会科学年報』第23号, 1988年

「大正期の権力の思想」『専修大学法学研究所紀要』14, 1988年

「1922年以降昭和初期までの権力の思想」『専修法学論集』第51号, 1990
年

「西田天香の思想」『専修大学社会科学年報』第24号, 1990年

「ファシズム期の教員の対外観」『専修法学論集』第54号, 1990年

「昭和期の教員の思想」『専修大学社会科学年報』第27号, 1993年

「明治期のナショナリズムの思想的特質」『専修法学論集』第80号, 2000
年

「近代日本の生かされる論理と倫理」『専修法学論集』第83号, 2001年

「大逆事件の歴史的背景と今村力三郎の思想的特質」『今村訴訟記録第32巻
大逆事件（三）』専修大学出版局, 2003年

「近代日本のナショナリズムと華夷の思想」『人民の歴史学』第160号,
2004年

3 書 評

太田雅夫編『大正デモクラシー論争史』上・下, 『図書新聞』, 1971年4
月17日

井上靖・渡部徹編『大正期の急進的自由主義』『歴史学研究』1973年12月
号

金原左門編『自由と反動の潮流』『歴史評論』, 1976年11月号

宮本盛太郎著『日本人のイギリス観』『日本史研究』299号, 1987年7月
号

藤原保信著『大山郁夫と大正デモクラシー』『東洋経済』4860号, 1988年
 都築勉著『戦後日本の知識人』『信濃毎日新聞』, 1995年4月23日
 山本義彦著『清沢澗の政治経済思想』『歴史学研究』, 1997年1月号

4 事典・解題

『国民百科事典』平凡社, 1976年

赤松克麿, 一木喜徳郎, 上杉慎吉, 浮田和民, 尾佐竹猛, 賀川豊彦, 新人
 会, 美濃部達吉, 民本主義, 森戸辰男, 吉野作造, 黎明会

『明治, 大正, 昭和の名著』自由国民社, 1977年 大杉栄『生の闘争』

『国史大辞典』吉川弘文館, 1979年

浮田和民

『日本文学事典』平凡社, 1982年

賀川豊彦, 吉野作造

「大正デモクラシー」『日本書籍教室の窓』254号, 1982年

『日本大百科全書』小学館, 1984年

浮田和民, 交詢社, 小日本主義, 富岡日記 日本イデオロギー論

『大百科事典』平凡社, 1984年

浮田和民, 茅原華山, 酒井雄三郎, 下村湖人 白柳秀湖

「思想史」『日本における歴史学の発達と現状 VI』山川出版社, 1985年

『朝日人物事典』朝日新聞社, 1990年

植原悦次郎, 尾崎行雄, 佐々木安五郎, 佐々弘雄, 北吟吉, 岡田良平, 室
 伏高信, 永井柳太郎, 杉山茂丸

『血盟団事件』解説, 『今村訴訟記録第16巻血盟団事件(七)』専修大学出
 版局, 1992年

『岩波日本史辞典』岩波書店, 1999年

犬養毅, 今井嘉幸, 尾崎行雄, 革新倶楽部, 加藤高明, 加藤高明内閣, 加

藤友三郎，加藤友三郎内閣，宮中某重大事件，清浦奎吾，清浦内閣，軍備縮小同志会，研究会，憲政会，憲政の常道，憲政擁護運動，国民同盟，シーメンス事件，大正，大正政変，大正デモクラシー，大正天皇，高橋内閣，田川大吉郎，寺内内閣，寺内正毅，床次竹二郎，虎の門事件，永井柳太郎，花井卓蔵，原敬，原敬日記，原内閣，普選運動，普通選挙期成同盟，松田正久，武藤山治，山本権兵衛，山本内閣，横田千之助

『日本歴史大事典』小学館，2000年

浮田和民，交詢社，交詢雑誌，小日本主義，今井嘉幸，民本主義，吉野作造

「大東亜共栄圏の思想」『日本文化史ハンドブック』東京堂出版，2002年

「新井報告の特質とその課題」『歴史におけるデモクラシーと集会』専修大学出版局，2003年

『日本史文献事典』弘文堂，2003年

浮田和民著『倫理的帝国主義』，栄沢幸二著『大正デモクラシー期の政治思想』，栄沢幸二著『大正デモクラシー期の教員の思想』の解題。